

Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

「なんとかなる」

それは、やることを

ちゃんとやってる人のセリフよ。

ミイ (ムーミン)

進学・就職体験談を聞く会



2月10日に進学・就職体験談を聞く会が実施されました。この会は3年生が1・2年生に、受験するにあたり準備したこと・努力したことや、試験に臨むときの気持ちを伝える会で、例年2月に開催されています。今回は8名の3年生が話をしてくれました。

3年生は、事前に原稿を準備していましたが、あふれる思いを一生懸命伝えようと、顔を上げて自分の言葉で話している姿が印象的でした。「本物の努力をした人間の発する言葉の力」はとても強く、ストレートに心に響いてきますね。教師が伝えようとしても伝えきれない部分を、真剣に、ときにはユーモアも交えながら語ってくれました。

1・2年生も普段とは違った先輩方の姿を見ることができたせいか、聞く態度も良く、素早くメモをとる姿勢が見られ、今後の成長を期待させる素晴らしい会になったと思います。先輩から学んだことを活かして今日からの高校生活に、新たな「決意」を持ち、具体的な「行動」を起こして、目標を達成するための日々を過ごすことを願っています。

以下3年生が伝えてくれたことをまとめてみました。1・2年生の皆さんも進路実現へ向けての参考にして下さい。発表してくれた3年生、本当にありがとうございました。

書いた小論文は約100本。

本気で合格したいと思えば頑張れる。

でも…正直、苦しかった。

1・2年での積み重ねが大事！！

去年のこの時期に、先輩の話聞いた時から頑張っておけば良かった！！

「もっと早く決めておけば」

「もっと勉強しておけば」

「もっと面接練習しておけば」

やはり、受験は団体戦！
クラスや学年が頑張ろうという雰囲気になることが大事。
部活動との両立も大事。

そのうち考えよう…では遅い！今から！

一緒に頑張っていた友人が不合格…
受験はやっぱり厳しい。でも、そんな友人にも支えられてここまで来れました。ずっと指導してくれた先生に感

☆鹿児島県立短期大学

文学科 英語英文学専攻 合格☆

私は推薦入学で、県短に合格することができました。選考方法は、「書類審査」・「小論文」・「面接」です。書類審査には調査書（高校3年間の成績や出欠、生活態度や資格検定・部活・学級役員・ボランティアなどが記載されたもの）と志望理由書を提出しました。小論文は、英文を読んで日本語で述べる形式のもので、面接は日本語面接と英語面接のどちらも行う形式でした。

志望理由書を書いたり、面接ノートを作ったり、小論文の練習をしたりと、授業の予習や毎日の宿題もしながらこなしていくことはとても大変でした。でも「この学校で学びたい」と強く思うことで最後まで頑張ることができました。自分が必死になると、多くの先生方が協力してくださって、そのおかげもあって合格できたと思っています。

推薦入試の対策をしていく中で感じたことは、もっと早い時期（1・2年時）から進路を明確にしておけば、時間をかけてより多くの知識を集め、試験に生かすことができたのではないかと…ということです。「進路決定は3年生になってから」と考えずに、今できること、そのために今すべきことを見つけ、実行することが大切だと思います。



☆琉球大学工学部

機械システム工学科 合格☆

私は、センター試験を課す推薦入試で、琉球大学に合格することができました。夏ごろから推薦をすすめられて考えてはいましたが、自分の性格的に面接を必要とする推薦入試は避けたいな〜と思い、迷っていました。そのため、一般試験（センター試験と個別試験）に向けて勉強を続けていました。思うように成績は伸びない中、推薦入試の受験を決めたのは、もう11月になる頃だったと思います。

面接では、関数や微積の問題や物理分野の公式など口頭試問のような内容も含まれ、人前でスラスラと話をすることが得意でない私は苦労しました。

小論文の内容も、「災害・防災・または救助や復旧に関わるような機械装置やシステムを考案するとすればあなたにはどんなアイデアがあるか?」というような内容で、日頃からその分野に興味を持っていたり、自分の考えを持っていることが必要となるものでした。

大変でしたが、周りの人が支えてくれたから勉強に集中でき、合格できたと思っています。受験をするみなさん、親や友人、先生方など多くの方がどんなときでも支えてくれると思います。不安になることなく、目標を達成できるよう勉強に集中してください。



☆長崎大学

水産学部 水産学科 合格☆

「水族館で働きたい」と高校1年のときから担任の先生には言っていました。私は、専門学校に進むことがその夢を叶えることへのただ一つの道だと思い込んでいたような気がします。しかし、実際にどのような形で水族館で働くか?と考えたとき、やはり専門的な知識が必要になるだろうだということや、地球全体の生態系に貢献できるような働き方をしたいと考え、大学を志望するようになりました。

全国には国立の水産学部は4つあります。同じ学部でも目指すものや学べる専攻科目が大学ごとに違い、調べていくうちに「私が希望する学びはこの大学しかない!」と、長崎大学を志望するようになりオープンキャンパスにも参加して、その気持ちを強くしました。何としても長崎大学に合格したいと思い、担任の先生のすすめもあって、推薦入試に挑戦することを決めました。

志望理由書の作成に始まり、面接練習や英語と国語の口頭試問まで、毎日先生方に指導を受けました。受験勉強と両立をさせなくてはならない大変な日々が続きます。私も、もっと早くから準備をしておけば…と何度も後悔しました。しかし、毎日先生方に練習していただいたおかげで、本番でも緊張することなく堂々とした態度で受験することができました。

チャンスの広がる推薦入試ですが、とにかく早めに準備することが合格への近道だと思います。あきらめず、がんばってください。